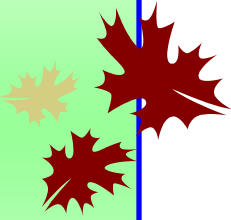




Tuuli

トゥーリ

2013年11月15日発行



11月9日から15日まで秋の全国火災予防運動が行われました。ムシムシとした暑い夏も去り、あっという間にかかりと乾燥した季節がやってきました。今年は秋が短く、もう冬支度が始まりました。暖房を使い始めていらっしゃるおうちも多いのではないのでしょうか？この秋の標語は「消すまでは心の警報ONのまま」です。火の始末には十分に気を付けたいと思います。



配食ボランティア交流会のお知らせ



至誠ホームの自主事業の一つに地域でひとり暮らしの方に温かいお弁当をお届けするサービスがあります。今年も大勢のボランティアさんにお手伝いいただきました。温かいお弁当を届けるだけでなく、温かな気持ちも一緒に詰め合わせをしてお届けくださっています。午前中は年を重ねることにより、いろいろな困難なことが増えてくる中で、温かい食事をとることがいかに楽しみか、介護者の立場からお話をさせていただきます。間にはソフト食の試食もしていただく予定です。

日ごろお弁当の配達をしてくださっているボランティアの皆様、是非ご参加ください。

- ◆日時 : 12月18日(水) 10:30~13:00
- ◆場所 : センター4階 研修室
- ◆参加費 : 500円
- ◆対象 : ふれあいごはんにかかわるボランティアさんとスタッフ等
- ◆内容 : 「食べる楽しみ」
- ◆講師 : 佐藤 徹郎 (至誠ホーム 統括事務局 企画調整 主任)



特養ボランティア活動報告会開催のご報告

11月6日特養ボランティア活動報告会・交流会が行われました。ボランティアさん、利用者のご家族、職員で総勢36名の参加がありました。

本年の報告者は「鈴の会」の代表鈴木文さんで、まずは手品の披露から始まりました。「私がボランティア活動を始めたきっかけは、社協で行われたボランティア講座でした。至誠での活動も長くなりましたが、継続の秘訣は無理をしないことです。そして利用者の楽しんでくださっている顔や、「もっとやって!」という声がどんなにうれしいものか! また来ようという気持ちになります。マジックをする時の工夫は利用者にも参加をしてもらうことです。手伝ってもらうとご自身も参加なさってくださる気持ちになり、より楽しんでもらえます。」

そしてお話は、鈴木さんの横でにこにこ笑いながら見守っておられるご主人にも及びました。「主人は4年前から至誠特養に入所しています。皆さんに大事にしてもらい90歳を過ぎて要介護度が4から3になりました。主人ともっと一緒に時間を作りたいと、2年前にせせらぎに住み替えをしました。今、週に1度は主人を連れてせせらぎの自宅に帰ります。その時間は友達や娘や孫など大勢の人が寄り集まってくれる楽しいひとときになっています。」

このお話を伺い「介護が苦ではなく喜びにつながっている」のだとびっくりしました。お二人の深い愛情に感動すると同時に新しい介護の形を見せていただいた気がしました。

お話しくださった鈴木さん、ご参加くださいました皆様、どうもありがとうございました。また来年も素敵なボランティアさんをご紹介したいと思います。



バイオリンコンサート送迎ボランティア募集

- ◆日時 : 12月1日(日) 14:00~14:45
- ◆場所 : 錦 センター2階 ホール

毎回大勢の特養の利用者の皆さんが参加されます。送迎や見守りにボランティアさんのお力が必要です。どうぞよろしく願いいたします。



お餅つきボランティアさん募集のお知らせ



恒例のお餅つきが今年もけやき広場で行われます。お餅つきを実施できるのもこの行事を楽しみにしていられる利用者の皆さんと大勢のボランティアさんのおかげです。今年も皆様も利用者の皆さんと一緒につきたてのお餅をお楽しみください。

- ◆ 日時：12月6日(金) 9:50~12:00
- ◆ 場所：けやき広場
- ◆ 募集：①餅のつき手 ②餅の返し手 ③餅の運び手 ④利用者の送迎・誘導等

※ちぎり手として和光の利用者の皆さんがお手伝いいただきます。

特養各フロアの利用者のみなさんが楽しみになさっています。どうぞお力をお貸しください。



映画会開催の予定について

- ◆ 日時：12月15日(日) 14:00~16:00 (上映時間:107分)
- ◆ 場所：錦地区 センター2階 ホール
- ◆ タイトル：「魔法にかけられて」 ディズニーのアニメと実写のミュージカルです。

毎回大勢の特養の利用者の皆さんが参加されます。送迎、見守りにボランティアさんのお力が必要です。どうぞよろしくお願ひいたします。



書道ボランティアさん募集

スオミグループホームには9名の方々がお住まいになっています。上達に重きを置く指導でなく、昔ならった書道を一緒に楽しんでくださる方を募集します。

- ◆ 日時：月2回
木曜か金曜の午後1時間くらい
- ◆ 募集人数：1~2名
- ◆ 場所：錦町
スオミグループホーム



体操教室の補助募集

体操教室と転倒予防教室の準備や送迎をお手伝いくださる方を募集します。体操教室は特養に入所なさっている方、転倒予防は和光ホームの方が対象です。

- ◆ 日時：毎週木曜 13:00~16:00
- ◆ 募集人員：1名
- ◆ 場所：センター2階 ホール
- ◆ 車いす介助のできる方が希望ですが事前に講習も致します。



失語症 - その3 - 言えないけれどわかっているの

今回は残りの2つ「読む」と「書く」ことです。

まず「読む」ことですが、「文字を見て内容を理解する」と「文字を見て声に出す」の2つがあります。「読む」ことができれば、本を読んでその内容を楽しむことや手紙を読んで相手の気持ちを理解することができます。失語症になると文字と意味が上手くつながらず、読むこと(言葉の意味を理解すること)ができなくなることがあります。また、文字と発音がつかないため音読も難しくなります。

文字の種類にも注意が必要です。同じ単語を「ひらがな」と「漢字」で書いた場合、どちらの方が失語症の方にわかりやすいでしょうか?答えは「漢字」です。「ひらがな」の方が簡単そうに見えますが、「ひらがな」が音を表すのに対し、「漢字」は意味を表します。難しい言い方をすると表音文字(ひらがな)と表意文字(漢字)といいます。音を思い出すのが難しい失語症の方にとって漢字の方が意味を表しているのわかりやすいのです。人によっては「漢字」ならわかるけど「ひらがな」だとわからないということも実際にあります。

次に「書く」ですが、文字の形を思い出すことが難しくなるので「書く」ことが困難になるのですが一番大きな問題は失語症の方は右マヒになりやすいということです。言葉を司っているところは左の脳にあります。手足を動かす神経は首のあたりで交差するので左の脳で脳梗塞などが起きるとマヒは反対側の右に出ます。そして、日本人は右利きが多いので書くためには利き手を替えなければいけません。なかなか大変です。

今回は失語症の方とのコミュニケーションについてです。

(生活アクティビティ 笈川)